

東京 IPO 特別コラム

2017年9月13日 Vol.97

天高く馬肥ゆる秋到来！！

懸念された9月9日の有事発生が杞憂に終わり、さわやかな青空の下、秋相場が始まっています。まさに天高く馬肥ゆる秋の到来です。秋は食欲の秋、読書の秋とともに戦いの秋でもあり、このところ停滞気味に推移してきた株式相場にとっては調整を抜け出して再び上昇トレンドを描けるのか関心が高まっています。NYダウやNASDAQの直近高値抜けを目前にしており、日経平均も再び2万円台に迫ろうとしています。このタイミングで日本郵政(6178)のPO(売り出し)が正式に決まり、皆様のご関心も高まる状況にあるかと思われます。

9月は3月期決算企業の間接決算月で配当金取りを目当てにした投資や堅調な業績を達成しつつある企業への関心も高まる時期でもあります。委縮した投資マインドの復活で調整を脱して年末に向けてポジティブな展開が見られるものと期待されます。

IPO市場に目を転じると今年は既に8月30日のUUUM(3990)まで46銘柄が登場。本日のエスユーエス(6554・マザーズ)から9月のIPO9銘柄の取引が始まります。IPOは上場申請した企業が承認を受けて上場に至るまで1か月ほどのタイムラグがあります。仮条件が提示され機関投資家等へのブックビルディングを経て公開価格決定で一般投資家の申し込みがなされ上場日を待つこととなります。ITや機械、電子、バイオ分野における技術者派遣・請負業務を展開する京都に本社を置くエスユーエス(6554)の場合は8月9日に承認が下り、8月25日に仮条件が提示され9月4日に公開価格が2300円に決定されてのIPOです。9月が本決算ですので既に来期に向けた展望が気になるころかと思われますが、人材系のビジネスで類似企業として思い浮かぶのは夢テクノロジー(2458)です。この夢テクノロジー株はこのところ人気を集めていますので自ずと同社にも関心が向く可能性があります。

本日のエスユーエスに続いて明日はウォンテッドリー(3991・マザーズ)のIPOが予定されています。公開価格1000円は現状の利益水準から見るとやや割高感がありますが、ゴールドマンサックス証券からFacebook Japanを経て2010年にビジネスSNS事業を展開する同社を設立した女性経営者、仲暁子氏の手腕に関心が集まっています。この後20日のニーズウェル(3992・JQ・公開価格1670円)、22日のPKSHA(パークシャ)Technology(3993・マザーズ)と続きます。ニーズウェルはシステム開発企業で過去3期間着実な業績拡大傾向を辿り、既に配当も実施しています。決算期は9月。前期決算実績と次期決算への成長期待がポイントになります。PKSHAは機械学習技術等を利用したアルゴリズム開発及びライセンス供与をビジネスとする東大発ベンチャーで今後の成長が期待されています。

天高く馬肥ゆる秋の到来で株式相場が盛り上がりつつある中でこうしたIPO銘柄群への期待も高まりつつありますが皆様のご関心はいかがでしょうか。

(東京IPOコラムニスト 松尾範久)